

2019年度

『熊脳外イベント』～総集編～

今年度も様々なイベントが開催されました。ここで一部紹介させていただきます。

4月 新入職員歓迎ボーリング大会

毎年新入職員歓迎会を病院のイベントとして行っております。今年度はボーリング大会を行いました。成功に歓喜し、失敗に励まし合い、チームワーク構築の基礎となりました。



5月 経営方針発表会

今年度より新しい取り組みとして開催されています。病院全体の方針から、各部署それぞれが今年の目標を設定し発表を行いました。目標を職員が共有することにより、病院が一丸となり、より良い職場環境となるのではないのでしょうか。



10月 オータムコンサート

今回で第9回目となるオータムコンサート。楽器・歌の音色に心安らぎ、参加者全員で「ふるさと」を歌い、普段の入院生活とは違うひと時を過ごされました。音楽の力は素晴らしいものだ改めて実感しております。



11月 病院対抗ソフトボール大会

昨年は、惜しくも初戦敗退という結果に終わってしまいました。今回はリベンジを果たす為、一致団結し試合に臨み、2勝という功績を残すことができました。来年は優勝を目指して頑張りたいと思います。



12月 忘年会

スタッフ一同、この1年を労い、美味しい食事や楽しい出し物を行いました。また、来年も新たな気持ちで、熊本脳神経外科病院が地域に愛される病院となるように、日々努力を行ってまいります。



当院からのお知らせ

Wi-Fi はじめました

以前よりご要望がありました、Wi-Fiを導入致しました。1階から4階まで各階に設置しております。パスワード等の設定が必要となりますので、気軽にお声掛けください。外来の待ち時間、入院生活における息抜きにでも、ご利用頂ければと思っております。



編集後記

今回の「このは」では、当院での取り組みにクローズアップした内容となっております。私たち広報委員会でも、広報誌「このは」の作成等、皆様方に脳神経外科ならではの情報の配信や当院の事を知って頂き、地域の皆様のお役に立てればという思いで活動しております。今後、様々な情報を配信していきますので、宜しくお願いします。

医療法人 熊愛会 (ゆうあいかい)
熊本脳神経外科病院

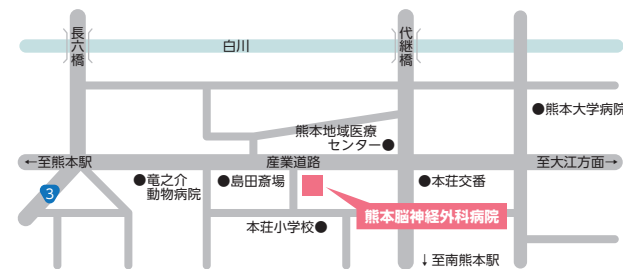
〒860-0811 熊本市中央区本荘6丁目1-21

Tel.096-372-3911 Fax.096-372-3922

E-mail:info@knh.co.jp

http://www.knh.co.jp

詳しい内容はホームページをご覧ください。



熊本脳神経外科病院 広報誌

このは 
Kumamoto Neurosurgical Hospital

2020年

3月
vol.7



写真の model 医事課 坂西 春奈 (写真左) / 入職 1 年目

マイブーム：音楽を聴くことが好きで、空いた時間には音楽を聴いています。また、休日は、姉とショッピングなどして過ごしています。
仕事への意気込み：入職してまだ日が浅く、分からないことばかりで、毎日必死に仕事をしています。先輩方から教えて頂いたことをきちんと身に付け、一つ一つの仕事を正確に行い、信頼して頂ける医療事務員になれるよう努力して参ります。

医事課 井上 真希 (写真右) / 入職 1 年目

マイブーム：高校時代から写真を撮ることが好きで、最近では持ち運びやすい小さなカメラで友達と遊ぶ時や旅行先でたくさん撮っています。
仕事への意気込み：先輩方の丁寧な対応を間近で見たり、温かいご指導を頂いて学んでおります。患者様は不安を抱えている方が多いと思うので、少しでも和らげるように接していきたいです。また、専門的な知識や実務を身に付け、患者様や病院にも貢献出来るように頑張る参ります。

Contents

特集 「当院での委員会活動」～信頼と安心のために～

- ・2019年度「熊脳外イベント」～総集編～
- ・当院からのお知らせ 「Wi-Fi はじめました」

特集

『当院での委員会活動』～信頼と安心のために～

当院では、医療の質や安全性の向上を目的に、様々なテーマに沿った「委員会活動」を行っております。当院に在籍しているすべての職員が全13種類ある委員会にそれぞれ所属し、最新の医療情報や経験を踏まえ、院内外へ向けた情報提供や、よりよい組織体制作りを目指し日々活動を行っております。今回はその中の6つの委員会について、具体的な活動内容を交えながらご紹介します。



渡辺一貴（診療放射線検査技師）

院内感染対策委員会

～院内で起こる様々な感染症から、患者様、ご家族、職員を守る～

主な活動内容は院内の衛生面の巡回、感染予防を促す掲示、感染症情報の把握や管理、感染対策に対する意識向上を図るため、全職員を対象とした勉強会の実施、感染予防の視点で関連する物品の見直しや導入などに取り組んでいます。10月には、手洗いの勉強会を行い、手指衛生の重要性を再確認しました。また、インフルエンザやノロウイルス等が流行する時期には、感染予防マニュアルに基づきマスク着用や、状況に応じた面会制限など患者様やご家族にもご協力いただいています。今後とも感染症の発生・広がりを防ぐため、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。



平田尚広（理学療法士）

医療安全管理対策委員会

～医療事故の発生を防ぎ、安心・安全な医療を提供する～

毎月委員会を開催し、院内ラウンド（巡視）を行い、問題点の報告と防止策について議論を交わします。また、日々の業務で上がってくるインシデント・アクシデント報告を元に、再発防止策の検討を行い、業務マニュアルの策定・見直しを行い現場への周知を図っています。

その他、活動内容としては、職員の医療安全に対する意識を高める為、年に数回を目標に院内勉強会を開催しています。12月はヒューマンエラーに関する内容で、職員の自己診断による行動パターンから、日常生活での注意点等の勉強を行いました。

これらの活動を通して、患者様が安心して治療に専念して頂けるよう医療安全の確保に努めています。



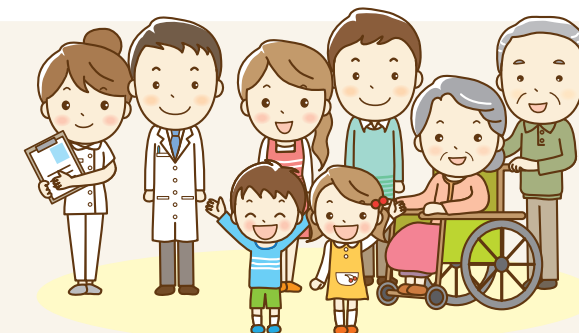
上野由紀子（言語聴覚士）

褥瘡対策委員会

～目指せ褥瘡ゼロ!まずは予防が第一～

褥瘡(床ずれ)は寝たきりの患者様のものと思われていますが、医療の高度化・複雑化によって、重症な患者様が多くなり、年齢問わずできる可能性があります。入院された方々に褥瘡ができない様、又できてしまった場合にも速やかに治療ができるように活動しています。

褥瘡においては、創の治療はもちろん重要ですが、まず予防が第一になります。一度できてしまうと、治療に長時間を要します。予防・再発においては、体位交換(体の向きを変える)を2時間毎に行います。また、栄養がしっかり取れているか、皮膚トラブルはないか等のチェックも行います。必要な患者様には適切なマットレスを提供できるように体制を整えています。その甲斐あってか、当院での発生率は低くなっております。



中川明日可（管理栄養士）

給食委員会

～栄養とリハビリテーションの相乗効果を最大限に～

他職種で意見交換を行いながら、患者様一人一人の栄養障害、サルコペニア、栄養素摂取の過不足を評価し、状態に合わせて食事量と運動量(リハビリテーション)のバランス調整を行い、リハビリ栄養ケアプランを立案します。体重や筋力量、摂食機能の変化に応じてプランの見直しを行うことで、病状・体調の経過に応じた最適なプランを計画しています。また、栄養改善や合併症予防、嘔吐・下痢・便秘の改善に向けて、消化態栄養剤の導入について検討を行っております。その他、患者様が利用される食器などの検討を行い、食べやすくする工夫なども行っております。



金子まゆみ（看護助手）

新人教育・院内学習委員会

～日々進歩する医療に併せて、職員の技術・知識もブラッシュアップ～

年間の教育計画を立案し、その中で、院内勉強会を主催したり、教育マニュアルの作成や修正を行っています。当院は100名に満たない小規模な従業員数であるからこそ、個々のニーズにあった勉強会を開催することができ、全職員に周知するべきことを、迅速に浸透させることができています。職場のコンパクトさゆえに全職員が職種の垣根を越えて顔を合わせられることをメリットに、軽快なフットワークとチームワークで日々成長していきたいです。



野嶋優（看護師）

防火・防災対策委員会

～地震・火災・台風 もしもの時に備えた万全の対策を～

1年間で2回訓練を行っています。新人の方を中心に消火器や消火栓の操作方法や実技など基本的なところから訓練を行います。時折、業者の方にも来ていただいて、避難装置を実際に使用するなどして、普段しないことも体験することで、いざという時にも対応できるように取り組んでいます。他にも、定期的に消防署の方にも立ち合いをしてもらい、院内の全体の消防訓練を行っています。実際に火災が起きたことを想定し、通報・初期消火・避難誘導・最終確認など一通り行った後、消防署の方々から指導をして頂き、防災対策の改善に努めています。

平成28年に発生した熊本地震で県内は多くの被害が出ました。その時の体験を教訓に、もしもの時に被害を最小限にできるよう、真剣に訓練を行っていく必要があると考えます。